



大月市 Otsuki City

平成23年5月31日発行

市議会だより

第122号



3月12日 宮谷小学校閉校記念式典



3月26日 梁川小学校閉校記念式典

平成23年第1回市議会定例会

主な議案の内容 例

平成23年第1回市議会定例会は、3月3日から23日までの21日間の会期で開かれました。

開会日に、条例案9件、当初予算案9件、補正予算案9件、その他の案2件が市長から提出されました。

また、議会提案として、「大月市議会委員会条例中改正の件」が提出され、全会一致で可決いたしました。

なお、井上正己議員より閉会中に提出された議員辞職願いを受理したとの報告が議長からありました。

また、12日には、一般質問が行われ、代表質問として4会派から、個人質問として2名の議員から市政全般にわたり質問がなされました。

条例案9件、補正予算案9件及びその他の案2件については、常任委員会に付託し審査いたしました。

当初予算案については、全議員で構成する平成23年度予算審査特別委員会を設置し、審査いたしました。

最終日には、人事案2件が市長から追加提出され、慎重審査のうえ、今定例会に提出された議案中「議案第7号 大月市国民健康保険税条例中改正の件」「議案第10号 平成23年度大月市一般会計予算」並びに「議案第12号 平成23年度大月市国民健康保険特別会計予算」については賛成多数で可決しました。

また、「請願第1号 住宅リフォーム助成制度を求める請願について」及び「請願第2号 高齢者（65歳以上）の肺炎球菌ワクチン接種費用の助成に関する請願」については、継続審査とすることに決しました。

その他の議案については、いずれも全会一致で原案のとおり可決並びに同意いたしました。



◎議案第1号

大月市職員の定年等に関する条例中改正の件

定年退職者の職務が高度の知識、技能又は経験を必要とする場合において、定年を延長し、その職員を引き続い勤務させることにより、円滑な行政運営が図れるよう所要の改正を行うもの。

◎議案第2号

大月市長等の給与の減額に関する条例中改正の件

厳しい財政状況の中、平成23年4月1日から平成23平成23年8月5日までの市長任期の間も引き続き、市長、副市長、教育長の給料月額を20%減額するもの。

◎議案第3号

大月市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例中改正の件

家庭児童相談員、母子立支援員の相談件数の増加及び高度な技術や専門的知識を有している非常勤職員の雇用に伴い、報酬額を変更する必要が生じたことから、所要の改正を行うもの。

◎議案第5号

大月市消防本部及び大月市消防署施設・設備等整備条例制定の件

大月市消防署の完成に伴い、大月市消防本部及び条例を廃止し、新たに施設・設備等整備基金条例を制定するもの。

◎議案第6号

大月市住民生活に光をそぐ基金条例制定の件

国が創設した「住民生活に光をそぐ交付金」対象事業を平成23年度に実施するため、新たに基金条例を制定するもの。

◎議案第7号

大月市国民健康保険税条例中改正の件

被保険者の高齢化や、疾患の多様化などによる医療費の増加等に伴う、国民健康保険特別会計の健全化に資するための国民健康保険税率等の見直しに伴い、所要の改正を行うもの。

◎議案第8号

大月市道路占用料徴収条例中改正の件

道路法施行令の一部を改

3月に廃止され、3年間が経過し精算事務もほぼ終了するため、老人保健特別会計を廃止するもの。

◎議案第4号

大月市特別会計設置条例中改正の件

正する政令で定める基準に準じ、占用物件の区分及び

占用料の額を改めるとともに、条文の整備を行う必要があることから、所要の改正を行うもの。

◎議案第9号 大月市簡易水道事業給水条例中改正の件
市営簡易水道から東部地域広域水道企業団への統合及び小規模水道への変更に伴い、所要の改正を行うもの。

◎議案第30号 大月市議会委員会条例中改正の件
次期市議会議員一般選挙より議員定数が現行18人から15人に削減されることにより、委員会構成を変更する必要から、大月市議会委員会の一部を改正しようとするとするもの。

○改正点
・現行3常任委員会を総務産業常任委員会、社会文教常任委員会の2常任委員会とする。
・委員の任期
・委員の定数
社会文教常任委員会 7人
総務産業常任委員会 8人
1年から2年にそれぞれ改める。

占
用
料
の
額
を
改
め
る
と
と
も
に、
条
文
の
整
備
を
行
う
必
要
が
あ
る
こ
と
か
ら、
所
要
の
改
正
を
行
う
も
の
。

◎議案第11号 平成23年度 大月市大月短期大学特別会計予算
予算総額 6千円(前年度比△12.84%) 増)

◎議案第12号 平成23年度 大月市国民健康保険特別会計予算
予算総額 111千円(4.0%減) 増)

◎議案第13号 平成23年度 大月市簡易水道特別会計予算
予算総額 6千円(前年度比△1.8%) 増)

◎議案第14号 平成23年度 大月市下水道特別会計予算
予算総額 4千円(前年度比△2.1%) 増)

◎議案第15号 平成23年度 大月市介護保険特別会計予算
予算総額 37千円(15.3%増) 増)

◎議案第16号 平成23年度 大月市介護保険特別会計予算
予算総額 6千円(前年度比△3.6%) 增)

◎議案第10号 平成23年度 大月市一般会計予算
予算総額 111千円、(前年度比△2.6%) 増)

◎議案第17号 平成23年度 大月市後期高齢者医療特別会計予算
予算総額 549千円(前年度比△40.1%) 増)

◎議案第18号 平成23年度 大月市病院事業会計予算
予算総額 4千円(7.9%増) 増)

◎議案第19号 平成22年度 大月市一般会計補正予算(第3号)
事業費の精査による減額等の補正を行うもの。

◎議案第20号 平成22年度 大月市一般会計補正予算(第6号)
国の緊急経済対策によるきめ細かな交付金事業として、中学校校舎新增改築設計事業、保育所施設解体事業及び住民生活に光をそそぐ交付金事業として、図書購入事業及び自殺対策普及啓発事業等の追加並びに事業費の精査による減額等の補正を行うもの。

◎議案第21号 平成22年度 大月市病院事業会計補正予算(第2号)
医療費の増嵩による給付費の増及び事業費の精査による減額等の補正を行うもの。

◎議案第22号 平成22年度 大月市簡易水道特別会計補正予算(第3号)
事業費の精査による減額等の補正を行うもの。

◎議案第23号 平成22年度 大月市下水道特別会計補正予算(第2号)
事業費の精査による減額等の補正を行うもの。

◎議案第24号 平成22年度 大月市介護保険特別会計補正予算(第3号)
事業費の精査による減額等の補正を行うもの。

◎議案第25号 平成22年度 大月市介護保険特別会計補正予算(第2号)
事業費の精査による減額等の補正を行うもの。

◎議案第26号 平成22年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
医療費の増嵩による後期高齢者医療広域連合納付金の増額補正を行うもの。

◎議案第27号 平成22年度 大月市病院事業会計補正予算(第2号)
医業収入(入院収益分)の減、一般会計からの補助金の増、及び事業費の精査による増額等の補正を行うもの。

◎選挙第1号 選挙
選
擧
議
員
補
欠
選
舉
東部地域広域水道企業団議会議員補欠選挙
山梨県東部広域連合議会議員補欠選挙
中村英幸

◎選挙第2号 選挙
選
擧
議
員
補
欠
選
舉
後藤慶家

そ
の
他

3 2 動車納入量	2 折はしご付消防ポンプ自	1 議会決議の購入申請第29号	2 貢産の例取に付する消防規約によるもの。	3 得する消防ポンプのよ	4 老朽化された消防車の購入を希望する。	5 諸君が購入する消防車の規約を希望する。	6 認定により、市道の路線変更認定の件
大月市消防本部	1 台	1 議会決議の購入申請第29号	2 貢産の例取に付する消防規約によるもの。	3 得する消防ポンプのよ	4 老朽化された消防車の購入を希望する。	5 諸君が購入する消防車の規約を希望する。	6 認定により、市道の路線変更認定の件

（継続審査となりました。）	富浜町鳥沢安藤栄子	猿橋町藤崎和田一愛	梁川町綱の上築160	猿橋町小沢佐37俊1	笛子町黒野竹174	大月町花咲幡128	七保町葛野志781	株モリタ 東京営業部	1 4 購入予定価格
								6 6 (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額)	1 2 6 5 2 5 0 0 0 円

請願

3月定例会日程

3月3日 ······ 開 会

平成23年度予算審査特別委員会
(正副委員長の互選)

3月9日 ······ 常任委員会(総務・教育厚生・建設経済)

3月11日 ······ 一般質問

常任委員会(教育厚生)

3月15日・16日 ··· 平成23年度予算審査特別委員会

3月18日 ······ 常任委員会(総務・建設経済)

3月23日 ······ 閉 会

3月11日の本会議の一般質問がおこなわれている真っ最中に東日本大震災は発生いたしました。この地震により被災されました皆様方に対し、衷心よりお見舞いと哀悼の意を表すと共に、一日も早い復旧がなされますことを、心からお祈り申し上げます。

また、大月市議会では、復興の一助となるように義援金(山日YBS厚生文化事業団・高萩市)を贈らせていただきました。



小学生から見た議会

3月11日の本会議（一般質問）を大月東小学校の6年生（42名）が、傍聴いたしました。

市議会を傍聴した児童の感想



見学して、自分達の町に公共施設などが作られるまでに何回も何回もこういう会議をして、公共施設などが作られることがわかりました。

市民の要望が通るまでに、今日やっていた会議が何回も繰り返してやって、やっと市民の要望がかなうことがわかりました。

会議をして自分達の町が安全に暮らせて、色々な建物が建っていくことがわかりました。

自分達の町のことを色々話し合って決めて、豊かに暮らせるようにしていることがわかりました。

大月市のこと真剣に話し合ってくれていてうれしいです。大月市をもっとよくするためにがんばって欲しいです。

大月東小学校6年 平井里奈

大月市民のために「どんなふうにしたらいい市になるのか」ということを話し合ってくれているということがわかりました。私は市議会でこのことを話し合っていることを初めて知りました。

勉強になったことと言葉が難しくてよくわからないこともありましたが、いい経験になって良かったと思っています。

これからも大月市がいい市になるようにして欲しいと思っています。

私も大人になって大月市のため出来ることがあつたらやっていきたいです。

大月東小学校6年 山口真美

3月定例会

一 般 質 問

一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

今定例会では、6名の議員が質問を行いました。

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。

詳しい内容については、会議録（5月下旬発行予定）を図書館及び市のホームページ（<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>）で閲覧することができます。

代表質問

清風会
後藤慶家

新年度当初予算について

そうした取り組みの中、市長就任以来、当初予算は3年連続で前年度を下回る緊縮財政となつておきましたが、23年度一般会計予算については、一転2億8、800万円の増額となつております。

石井市長におかれましては、財政の健全化を大月市政の最重要課題の一つと位置づけ、大月駅周辺整備事業の一部凍結を行うなど、早くから予算編成に取り組み、21年度には市長みずから職員に対して厳しい財政状況を説明し、協力をお願いしたとも聞いております。また、これまでの市政協力委員長委嘱式においても、市民に対し市の財政状況や重要課題など市立中央病院の運営状況等を説明し、市民の理解を得るために努力をされております。

新年度予算につきましては、議員ご指摘のとおり、前年度比2・6%、金額にいたしまして2億8、800万円余りの増額となつております。

答 市長

新年度予算につきましては、歳出構造のさらなる転換」と述べておりますが、新年度予算は基本からの繰入金が2億2、900万円の増額となつております。これらの中の増額が今後の財政健全化に影響していくのではないかと危惧するところですが、市長のお考えをお聞かせください。

助工作自動車、これは災害あるいはいろんな火災等における支援のための救助工作自動車であります。これが非常に老朽化している状況の中でこれの更新というか、入れかえであります。これらの消防費がおよそ1億円余りふえているという状況になつております。

次に、財政健全化への影響についてであります。基金からの繰り入れであります、2億2、900万円、基金というのは一般的家庭でいいますと貯金、預金であります。

これから2億2、900万円を取り崩すということになるわけですが、先ほど申し上げましたとおり、緊急やむを得ない歳出の増額に対応するため、これは、増加する医療給付費への対応であります。

新年度予算につきましては、議員ご指摘のとおり、前年度比2・6%、金額にいたしまして2億8、800万円余りの増額となつております。

助工作自動車、これは災害あるいはいろんな火災等における支援のための救助工作自動車であります。これが非常に老朽化している状況の中でこれの更新といいうか、入れかえであります。これらの消防費がおよそ1億円余りふえているという状況になつております。

次に、財政健全化への影響についてであります。基金からの繰り入れであります、2億2、900万円、基金というのは一般的家庭でいいますと貯金、預金であります。

本市の財政健全化にとつて必要不可欠、このように考えておりますので、ご理解をお願いする次第であります。

地域医療再生計画への取り組みについて

このふえた主な内容としては、土地開発公社へのゆりヶ丘修復費補てん、そしてまた情報基幹システム更新等によります総務費1億5、000万円の増額、国民健康保険や後期高齢者医療、介護保険特別会計への繰り出し支援というの増額によりますので、特に土地開発公社への補助金の増額につきましては、30億円を超える借入金残高は計画的に削減していく必要もありますので、今回当初予算に計上いたしました。

公社の経営改善あるいは借入額の削減は、これは避けて通れないものであります。しかし、早期に対応していくことで、高い金利負担の軽減にもつながるのではないかなというふうに思っております。

基金につきましては、でたしましては、土地開発公社へのゆりヶ丘修復費補てん、そしてまた情報基幹システム更新等によります総務費1億5、000万円の増額、国民健康保険や後期高齢者医療、介護保険特別会計への繰り出し支援というの増額によりますので、特に土地開発公社への補助金の増額につきましては、30億円を超える借入金残高は計画的に削減していく必要もありますので、今回当初予算に計上いたしました。

公社の経営改善あるいは借入額の削減は、これは避けて通れないものであります。しかし、早期に対応していくことで、高い金利負担の軽減にもつながるのではないかなというふうに思っております。

基金につきましては、でたしましては、土地開発公社へのゆりヶ丘修復費補てん、そしてまた情報基幹システム更新等によります総務費1億5、000万円の増額、国民健康保険や後期高齢者医療、介護保険特別会計への繰り出し支援というの増額によりますので、特に土地開発公社への補助金の増額につきましては、30億円を超える借入金残高は計画的に削減していく必要もありますので、今回当初予算に計上いたしました。

月、補正予算により、昨年国においては、地域医療再生基金の拡充を図ったところでございます。この基金の拡充は、地域の医師確保、救急医療の強化など、地域における医療課題の解決を図るために、都道府県に基金を設置し、都道府県が策定する「地域医療再生計画」に基づいて取り組みを支援することとしております。このため、山梨県におきましては、「新たな地域医療再生計画」の策定に当たり、県内医療関係機関に事業策定を応募しましたが、これに対し大月市立中央病院におきましては、早々に検討に入り、事業内容を取りまとめて応募したところでございます。

会を逃すことなく取り組んでほしいと思います。そこで、この基金を活用した新たな整備内容、計画期間など、どのように計画をされているのか、お聞かせしていただきたいと思っています。

業費基準など、提案事業の採択基準が示されました。市立中央病院の充実につきましては、平成19年3月に策定されました大月市第6次総合計画における市民アンケートの中で、最も高い要望事項となつております。

また、平成20年12月、市議会において設置されました「市立中央病院経営健全化対策調査特別委員会」からは、独自に行っていただけた市民アンケートの結果を踏まえ、市民が安心できる救急体制の構築に向けて率先してその一翼を担うことが責務であるとのご提言をいただきました。

また、私自身も就任以来貫して市立中央病院の整備・充実を最重要課題として位置づけてまいりました。極めて限られた期間ではありましたが、新田院長とも協議をし、市立中央病院がかつて有しております東部地域の中核的な病院としての役割をみずから再生し、地域の救急センター機能の整備・拡充と循環器検査機能、手術機能を持つ施設の整備等を計画し、応募したところであります。

下水道の経営状況 について

昨年度、桂川流域下水道並びに関連公共下水道計画の見直しが行われ、普及拡大が急務と言われております。

そこで、下水道整備によりまちはきれいになりますが、下水道までの接続費用が高額であり、低所得者、高齢者、アパート経営者には負担が重く、市当局の配慮が必要と思われますが、負担軽減策についてどのような対応をなされるのか、お伺いします。

また、現在、受益者負担金等の未納額並びに未納解消策についてどのようなお考えがあるか、お尋ねします。

は、排水設備工事補助金としまして、供用開始から3年以内に下水道に接続するための宅地内排水設備を改造した場合、工事費の2分の1、限度額10万円を補助しており、受益者負担金につきましては、老人世帯、生活困窮者等における減免制度を設け、負担の軽減を図っております。

また、受益者負担金につきましては、平成16年度供用開始より1億2,000万円程度を徴収しております。未納金は2月末現在で約835万円、6・5%となっております。

この未納に係る解消策につきましては、督促状、催告書の発送及び戸別訪問によりまして納付のお願いをしており、負担の公平性を考慮し、すべての方に負担金等を納付していただけるよう努力をしているところでございます。

今後におきましても、下水道事業への理解を深めていただくことにより、未納解消に努めてまいりたいと考えております。

代表質問



山と川の街大月

小原丈司

市長が描く大月市の未来ビジョンについて

市長就任後、財政状況や各種事業について検証したところ、基金残高も底をつく状態にあり、想像以上に市の財政状況は厳しく、事業と財政のバランスの見直しが急務の状況であります。このため、すべての事務事業の見直しと精査を行い、事業の優先順位を決めて、「歳入に見合った歳出構造への転換」による財政の健全化を目指すこととし、市民の将来的不安を解消すべく市立中央病院の改革プラン策定や橋上駅舎、自由通路の凍結による大月駅周辺整備事業の見直し、小中学校適正配置事業の工程の見直し、職員の意識改革や職員数の削減等の健全化対策を推進してまいりました。

その一方で、本市の現状を市民に正しく理解してい

ただくために、積極的に対話集会を開催するとともに、出張市長室を開設して、市政に係る情報をできる限り開示するとともに、市民の声に耳を傾け、市民が行政に参画するという意識を持つていただきよう努めてきたところであります。このことは、大月市の第6次総合計画の基本理念であります「信頼と協働のまちづくり」そのものであり、私がを目指す市民総参加市政に通ずるものであります。最近では、市長への手紙やメールにも建設的な意見や提案が届けられるようになり、市民意識にも変化の兆しが見えてきていると感じております。

さらには、自分たちで起きることは積極的に工夫をして実行したり、新しい事業にチャレンジしたりと、行政に頼らずそれぞれの力や創意工夫により行動する市民団体も出てきております。

また、40歳代以下の若方々にもそのような意識改革の思いが感じられ始めております。これらがやがては大きな力となつて、すばらしいまちづくりの原動力になつていくものと確信をしております。

このように、市民の方々と行政が一体となつてまちづくりに取り組んでいくことが、私の描く大月市の将

大月市は、首都圏から70キロメートルと比較的近い距離にあります。豊かな自然環境にも恵まれ、高速道路や鉄道など交通の便にもちすぐれ、日本一富士山の眺望がすばらしい全国に誇られるまちであります。これらの立地条件や自然資源をさらに活用することで、いやしと活力にあふれる魅力あるまちづくりが可能であると考えております。

本市のすぐれた資源とは2万4,000ヘクタールに及ぶ森林とそこからわき出る清流であります。

そして、本市を何とかしないと頑こ干を流してくれ

答
は、市長就任以来4年近くになりますが、その経過ではなく、将来に向けてのビジョンを聞きたいわけです。明るい未来につながるような提案をしてほしいと思います。
私は望む次第でござります。

市長
そして、よく市長は「住んでみたいまち」、また「住んでよかつたまち大月」と口にされます。が、具体的にはどういうことでしようか。

また、遊休農地や森林と観光資源である猿橋や岩殿山、秀麗富嶽十二景の山々を一体化させた観光や農業の推進、限られた市街地や住宅地の有効活用策としては、大月駅北口の民間企業参入への強力なサポートを行つて、桂台やゆりヶ丘分譲地の居住性や利便性を高め、入居促進を図ること。さらには、これら居住者の首都圏への通勤アクセスの改善対策なども必要であります。

る人々であります。長い間
地域医療の中核を担つてき
た市立中央病院であり、全
国から若者が集まる大月短
期大学であり、特急が停車
する大月駅を含め6つの駅
さらには荒れてしまつては
おりますが、遊休農地等、
すべて本市の発展に欠かす
ことのできない有効資源で
あり、これらを活用してい
くことが重要であります。

体となつた人間性豊かな心身ともに強い子供を育て、見守る教育の推進。

また、近隣市村との公共施設の連携、共同化、組合化などによりコスト縮減を図るとともに、上下水道につきましては本市の地理地形に適した施設整備について検討し、将来負担の軽減に向けて対策を講ずることが重要であります。

これらの事業を市民の皆様の納得を得た中で着実に実行していくことで、この大月市を「住んでみたまち」「住んでよかつたまち」にできるものと考えております。

にありましても、その原点と言える市立中央病院につきましては、東部地域における救急医療応需体制の確立を図り、2・5次医療を担保して、安全安心な市民生活のバックアップを行えるようにすること。

また、地域活動の支えとなる教育につきましては、特に大切な時期である乳児教育に力を注ぐことが重要であり、保育園、幼稚園の環境整備や子育てしやすい行政サービスを整えること。

再 質 問

問題でございまして、首都圏に特に人口が集中し始めている。

ということは一つの大きな利点ではあります。逆にこの駅が6つあつたり、そして集落が点在していると

問 大月都留広域事務組合の起債状況を教えてください。

といったしましては南棟建築時の残高が7億2、900万円余り、医師宿舎建築時の残高が3、000万円余

ということは一つの大きな利点ではあります、逆にこの駅が6つあつたり、そして集落が点在していると、非常に行政側から見ますと行政効率の悪い状況である。そんな状況の中で大都市というものは首都圏からの影

答　問
大月都留広域事務組合の起債状況を教えてください。
市民部長

といたしましては南棟建築時の残高が7億2,900万円余り、医師宿舎建築時の残高が3,000万円余り、その他医療機器整備等が2億7,500万円となっております。

をれ私らいでこちう結高山てい何
おどにれるよのとに果い梨、るか
同もはる方かま思、と市県現よ理
い、わのがつちつ住してで実う想
し具かかどたをてんてご一こでを
た体り、のそ出いでみざ番のご聞
い的まちぐうるなみんい減大ざか
のなせよら思、いたなま少月いさ
でこんついつ住かいがす。率市まれ
すとけとおてんらま思、がはして

問題でございまして、首都圏に特に人口が集中し始めている。それはやはりその生活する中での利便性とか、あるいはそれ人々の考えによるものであると考えておりますが、大月市が特に人口減少が著しい原因としての大きな要素とすれば、やはり首都圏に近い位置にあるということが大きな要素であろうというふうに思ひます。

ということは一つの大きな利点ではありますが、逆にこの駅が6つありますから、そして集落が点在しているという状況を考えますと、非常に行政側から見ますと行政効率の悪い状況である。そんな状況の中で大都市というのは首都圏からの影響力が非常に高い、このような環境的な位置づけも当然人口減少の要素ではないかなと。

答 大月都留広域事務組合の起債状況を教えてください。
市民部長 現在、大月都留広域事務組合には、大月市、都留市が運営費の負担を納入しておりますけれども、平成21年度の事業報告によりますと、組合として30億3,000万円の起債残高がございます。

といたしましては南棟建築時の残高が7億2、900万円余り、医師宿舎建築時の残高が3、000万円余り、その他医療機器整備等が2億7、500万円となっております。

問 東部地域水道企業団の起債状況を教えてください。
答 市民部長

答	問	答
市民部長	大月都留広域事務組合の起債状況を教えてください。	現在、大月都留広域事務組合には、大月市、都留市が運営費の負担を納入しておりますけれども、平成21年度の事業報告によりますと、組合として30億3,000万円の起債残高がございます。

といたしましては南棟建築時の残高が7億2,900万円余り、医師宿舎建築時の残高が3,000万円余り、その他医療機器整備等が2億7,500万円となっております。

下水道事業の経営状況特に起債状況を教えてください。

問
答
産業建設部長

こういうことをつかんでいますか。何でこの大月市は減少しているのか、みんな住んでいたいまちと思つていればこの人口もふえるうし、そうでないからこの大月市は人口減らなければなりません。その人口減少、それがわけることがあります。なぜ大月市が人口減らせるのか、その人口減少の原因をたずねます。あなたがお答えください。

人口減少、特に大月市の減少率が著しいというような質問かと思うわけですが、これは日本全体の

人々はこの地域に生まれ育ちながら、そして親は苦労して子供を育てる、子供たちはこの地域になかなか就職する環境がない、そのため首都圏を目指して勉強して、そして学校も東京に出てしまう。その結果として、東京に移り住んでしまって大月には戻つてこない、そのような繰り返しがなされているということ。

そして、大月市はかつては林業や、そして織物、そして養蚕というものが中心のまちであつたと思うわけですが、そうした基幹産業といえれば中心になるような産業がなかなか見当たらぬということ。そして、地理地形を見ますと、非常にこの山や自然が多い

平成21年度末の給水人口におきましては4万307人、給水戸数につきましては1万6、263戸となっております。水道料金により経営を行つておりますが、施設整備等に多大な経費がかかっております。21年度の事業報告によりますと、企業団として105億円程度の起債残高がありまして、大変厳しい状況に置かれております。大月市及び上野原市において補助金等をこれに投入をしておるわけでございます。

現在、大月都留広域事務組合には、大月市、都留市が運営費の負担を納入しておりますけれども、平成21年度の事業報告によりますと、組合として30億3,000万円の起債残高がございます。

問 中央病院の起債状況を教えてください。

答 病院事務長

今年度の医業総収益は、市からの赤字補てんといたしまして予定させていただいております。昨年と同額の2億円を含め、前年と比べ2億8,000万円余り増の総額約25億円と見込んでおります。

一方、総費用は薬品、診療材料など材料費、人件費、その他の経費の増額により25億8,000万円を見込み、経常赤字は昨年の1億3,600万円余りを8,000万円台としたいと考えております。

平成21年度末起債残高につきましては、10億3,400万円余りであり、内訳

答 産業建設部長

問 下水道事業の経営状況
特に起債状況を教えてください。

現在832世帯が下水道を利用して、供用開始世帯における水洗化率が63・1%であります。

21年度決算における収入割合は、使用料・負担金収入が約6・4%、起債が32・3%、国庫補助金が5・5%、一般会計からの繰入金が53・5%であり、繰入金が5053・5%であり、繰入金が5053・5%である状況となつております。

起債残高につきましては、22年度末においては約53億3、500万円となる見込みであります。

いたしましては南棟建築時の残高が7億2、900万円余り、その他医療機器整備等が2億7、500万円となっております。



大月市の人口減少 対策について

公明党
西室衛

答 市長

の整備が必要不可欠と考え
大月市の環境にマッチした
企業誘致に取り組んでいる
ところであり、現在数社と
立地協議を継続している状
況であります。

また、通学通勤者の利便
性の向上に努めることも大
切であると認識をし、大月

この結果、山梨赤十字病院が増床することとなりまして、医療スタッフの充実も図られ、本年2月には産科棟が完成をし、10床の運用が開始され、当医療圏における産科医療が充実されました。

機関などの協力をいただくなりで診療に努めております。次に、企業誘致の現状についてお答えいたします。就任以来、企業誘致によりましての雇用機会を創出し、流出人口の歯どめと流れ、人口の増加を図ることが急務であると考え、平成20年

以前からご説明をしており
ますが、公営住宅法につ
とりまして低所得者に対する
住宅ということで整備を
しております、今ストッ
クをしているものの改修等
についてもなかなか予算が
思うようにいかないような
状況でございます。

答

市の現状、取り組みについて、1番目に今後10年間の大月市の人口推定、2番目に人口減少に対する具体策、3番目に若者定住に対する対策、4番目に産科、小児科の対策、5番目に企業誘致の現状について伺います。

問 大月市の人口は3月1日現在で2万8、9千程度

また、国立社会保障・人口問題研究所が平成20年12月に公表いたしました「日本の市区町村別将来推計人口」によりますと、10年後である平成32年の本市の推計人口は2万4,524人としております。

駅南口広場の整備等を推進しているところであります。JR中央線につきましては、若者が、就職後も自宅から都内へ通勤できる環境の整備に努めることも、若者の定住対策の一つと考えております。

たところであります。本市では、保健師によります母子手帳の交付の際や妊婦健康診査を通し、安全で安心して出産していくだけで安心するよう相談業務などに努めております。

6月に「大月市工場設置奨励条例」を「大月市企業立地促進条例」に改正をし、これに伴いまして「雇用促進奨励金制度」も新たに設け、誘致活動を進めてまいりました。

市営住宅で今後若者を中心とした対策については、何か増築とか考
えているでしょうか。

さらに、市長会等を通しての要望が実り、平成20年度から窓口無料化が実現されるなど制度の充実が図られました。

ご質問の中学校3年生までの公費負担は、本市の財政状況を総体的に判断いたしましたと、現時点におきましてはその実現は困難でありますが、子供が元気で健やかに成長するためには、この助成制度も重要な一つと考えていますので、平成24年度からの次期総合計画において、子育て支援策を見直す中で検討したいと考えております。

また、県に対しましては、助成対象年齢の引き上げ、国に対しましては助成制度の創設を市長会等を通じて引き続き要望してまいります。

内
容
的
に
は、
ワクチン、接
種と死亡との因果関係は、報告医によれば、いざれも評価不能または不明とされていることから、この小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンについては、因果関係の評価を実施するまでの間、念のため接種を一時的に見合わせることにしました。

ジ初めに非課税世帯へのデジタルチューイナードの貸し出しが、状況についてであります。本年1月24日から総務省地デジチュイナード支援実務セセンタードにおきまして、低所得者へのデジタル放送視聴対策といたしまして、世帯全員が市町村民税非課税で、テレビもチューイナードも購入していない場合、デ

また、個別受信世帯につきましても、県内波が受信不可能と思われる地域を、星放送対応などの支援を行なつたところでございます。今後の対応といたしましては、5月から6月に市内の象65歳以上のお年寄者世帯を対象に、周知用パンフレットを配付し、担当者が直接出向いて相談に乗る予定になります。

**中学生までの医療費公
費負担実施について**

次に、近隣市との格差をなくすためにも、公費負担実施への考えについてであります。が、県の医療費助成対象が、通院は5歳未満、入院は小学校入学前でありそれ以外の小学校6年生までの医療費助成につきましては、市の単独事業として実施しております。

答 予防接種にリスクは大きいのですが、今後の大月市の対応について伺います。

市内のデジタルテレビ受信対応への現状は

問 非課税世帯に対し、電子タールチューイナード制度の利用状況はどのようになっているのでしょうか。
7月のデジタル化実施に当たり、市民からタール難民を出さない対策を伺います。

問
産業の関係ですが、後継者の育成についての対策があります。まざとしたら、お聞きしません。

産業建設部長

院、入院とも小学校6年生まで医療費助成対象であります。都留市では、本年度は本市同様、小学校6年生までの通院、入院医療費の助成ですが、平成23年4月からは中学生の入院について医療費助成対象の予定と伺っております。上野原市につきましては、平成22年1月から通院、入院とともに中学校3年生までの医療費助成であります。

ヒブワクチン及び肺炎球菌の予防接種で問題が発生しているが、大月市の対応は

国では、早速今月8日に医薬品等安全対策部会安全対策調査会と、子宮頸がん等ワクチン予防接種後の副反応検討会を合同で開催し検討を行つたところです。その結果、「接種との明確な因果関係は認められないが、さらに情報収集が必要」とのことであり、「両ワクチンの接種を一時見合わせる措置を当面継続する」との結論がありました。

このことを受けまして、先日9日の大月地区医師会定例会に市長とともに出席しました。接種見合せへの対応につきましても協力をお願ひしたところあります。

ジタルチユーナーを1台給付する制度を開始いたしました。本市におきましても2、3月号にてこれらの周知を図るとともに、市民課、税務課、各出張所の窓口に申込書を設置したところでございます。

代表質問



日本共产党
佐久間 史郎

医療と国保制度について

問

國保税を滞納している被保険者の生活実態に即した国保制度の減免申請で救済すべきではないか。

答 市長

国民健康保険制度は、議員ご承知のとおり、負担と給付のバランスの上に運営されております。国民健康保険特別会計の財源に関しては、相互扶助の理念のもと、法律に基づいた公的負担を除けば、加入者の保険税で賄うこととされております。

ましては、災害や疾病、また非自発的失業など保険税の納付が著しく困難と認められる方など、必要があると認める納税義務者に対し、条例や要綱で定めております。平成22年度におきましても、倒産、解雇及び雇い止めなどにより離職された方に対し、条例の改正を行い、軽減措置を講じたところであります。

また、課税時においては、それぞれの世帯の所得に応じ、7割、5割、2割の軽減措置を行い、税負担の軽減策を講じております。それでもなお滞納になつ

ります。保険税の減免制度に関しては、災害や疾病、また非自発的失業など保険税の納付が著しく困難と認められる方など、必要があると認める納税義務者に対し、条例や要綱で定めております。

短期証や資格証になつてしまつた方への国保税の減免での救済はできないかとお尋ねであります。減免制度は現行法では納期限7日前までの申請となつており、滞納に係る税に対してもの減免は想定していないものであります。

部負担金減免制度の活用が適切に行われているか。

問

答 市長

この制度につきましては、國民健康保険法第44条に基づき、患者さんが医療機関等で支払う一部負担金を減免または徴収猶予しようとする制度であります。

じ、国、県等関係機関に引き続き働きかけを行つていただきたいと考えております。

支払った医療費を減免する国民健康保険の一

付の方法で負担の軽減に努めています。

て、このようなケースに当てはまる方が申請に見えたる連絡を取り合うなど、制度の趣旨を共有する中で適切な運用を心がけておりますので、ご承知をお願い申します。

再質問

問

免よりも一步踏み込んだ形をとるもので、生活の状況を調査、把握した上で適用するか否かを判断することとなつてあります。

今、減免制度もこれはさきの議会で私が取り上げて、早速条例の改正もしていただいているのですけれども、もう一つの治療費の一部自己負担、これについて

おり、このことは、税の減免策を講じておられます。

市長会の要望事項などを通じては市が定めてからまだ利用者がないと聞い

国民健康保険の一
部負担
金の減免等についての市民
への周知についてであります
が、皆さんご承知のとお
り、国保会計は大変厳しく

私が質問しました治療にかかるときの医療機関に払った代金ですが、その減額申請、減免申請が、まだ大月市ではないというふうに聞いているのですが、その点はどうですか。

TPP参加へのメリットは、工業国である日本の輸出型経済を成長させることで、一般消費者である国民他国からの高い評価を受けております。

いりたいと考えております、
住宅リフォーム助成制度について

問 地域の力を育て、伸ばし、それによって雇用と消費を増やし、さらに力をつける内発型・循環型の地域振興策でしかも経済波及効果が

講員の言われる取扱制度について、現在のところ取り組める状況にあります。この理解をお願いしたいと思います。

住宅リフォーム助成制度について

するためには、平成17年度より国の助成制度を取り入れながら、耐震改修を含めた住宅リフォームの推進を図っております。

て い ま す。国 の ほ う か
ら この 44 条に 基づくこ
の 基 準 の 決め 方 と い
ま すか、運 用 に つ い て
通 知 も 来 て い る よ う で
す。こ う い う こ と が も
つとも つ と 市 民 の 目 に
つ い て、非 常 に 困 つ て
お り 医 療 費 を 払 う の も
困 難 で、そ う い う 方 が
す ぐ に 相 談 で き る、そ
う い う こ と を 知 ら な い
市 民 の 方々 も お ら れ る
の で は な い か と 思 い ま
すが、そ の 点 で 周 知 と
い う こ と を 今 後 ど う い

て、今議会にも国保保険税を改正する案件を出させていただいております。そのような中で、私たちも国保運営委員会さんからも指摘をされていまして、住民に十分説明をしようと、こういふふうな強い意見をいただいております。

TPPと農業問題等について

そこで、新年度から数回にわたりまして特集を広報でとらせていただくことになつております。そのため、その中にこの減免制度についても機会あるところをつくりましてお知らせをしてまいりたいというふうに今は思つております。

問 TPPの推進が日本の経済成長や国民の暮らしにどう影響するのか。

答 我が国は、資源には恵まれておらず、資源供給の多様化を図るため、TPPなどの自由貿易協定の推進が求められています。しかし、一方で、TPPによって日本が競争力を持つために必要な規制緩和や税制改正が実現されるとの見方もあります。また、TPPによって輸入品の価格が下落する可能性があることから、一部の業界では競争圧力が強まる可能性があります。

るものと考えられますが、しかしその反面、輸入増加による安価な農産物の流入により農業が打撃を受けることが懸念されることから、農業者の暮らしについて、国として、その将来への不安を払拭するような継続的かつ永続的な農業の実現に向けた強い政策を行つて、ただく必要があると考えております。

答 大きい住宅リノベーション助成制度を早期に実施されてはどうか。

答
福祉保健部長

の暮らしの向上にはつながるものと考えられます
が、しかしその反面、輸入増加

答
産業建設部長

問 地域の力を育て、伸ばす
し、それによって雇用を増やし、さら
に力をつける内発型・循環型の地域振興策で、
しかも経済波及効果が

議員の言われる助成制度については、現在のところ取り組める状況にあります。んで、ご理解をお願いしたいと思います。

個人質問



卯月政人

市政業務改善について

問

職員の提案制度についてお尋ねをいたします。

近年、多くの自治体や企業が、業務改善を含む提案制度を設け、新規事業を初め業務の効率化やコストダウン等に大きな成果を上げているということです。本市においても平成18年9月より職員提案制度が施行されておりま

す。これは、職員の創造力、研究心及び市政運営への参加意欲を高め、市政の発展に寄与するということが目的で始まつたと聞いております。私は、9月議会の質問の中で、QRコードを活用した山歩きナビに

について質問した際に、他市では職員の勉強会でこのことが発案をされたことを取り上げ、当市においても中堅、若手職員育成のための勉強会について触れさせていただきましたが、

さまざまな知識を持つた職員の斬新な意見を募集し、効果が期待できそうな提案は積極的に取り入れていくことが必要だと思います。

しかしながら、21年度の当市の職員提案件数については4件にどどまっています。制度を活性化し、提案件数を増加させるためには、現在募集期間が各年度内約1カ月間のみとなつていることでありますが、遠慮なく気軽に提案ができる環境をつくるため、幹部職員がまず率先して提案を行い、提案しやすい雰囲気をつくり、また採用された提案に対しても表彰を行い、褒める文

答 市長

市長

市政業務改善についてお尋ねをいたしましたが、いかがでしょうか。

施行年度からの提案件数の実績と採用された主な提案内容についてお聞かせいただきたいと思います。

また、その他に市政の効率化やコストダウンに向けた取り組みについてお考えがあれば教えていただきたいと思

います。

職員提案制度は市政の改善について広く職員から提案を求めるることにより、職員の創意工夫による提案を奨励し、職員の創造力、研究心及び市政運営への参加意欲を高めることを目的に、

6件採用ということではありますけれども、この業務の効率化という内容であります。提案された内容といたしましては、経費の節減・削減、業務の改善・改革、観光振興及び広域行政に関することなど、市政全般についての応募がありました。

応募件数としましては、平成18年度には27件の応募がありました。が、昨年度は4件と減少傾向にあります。今後、年1回の募集回数や期間などについては、応募しやすい環境づくりとなるよう改善にも努めてまいりたいと考えております。

次に、大月市のサイン計画というものがございますけれども、その見直しについての提案。それに、市内に点在しております広報の掲示板、これの取り扱いについての提案。それと、職員に対する主要事業に対する説明会あるいは職員同士の討論会等に対するそういう

で職員の改善意欲を高め、モチベーションの向上をねらい、年間を通じて提案を募集することにより、思いついにタームマリーに提案できることがerule化されると思いますが、いかがでしょうか。

採用となつた提案でも、再検討すれば効果が期待できるものにつきましては、提案者の了解のもと担当課に通知することとし、昨年度は2件が該当したところであります。提案された内容といたしましては、経費の節減・削減、業務の改善・改革、観光振興及び広域行政に関することなど、市政全般についての応募がありました。

採用された6件、大月市立中央病院に関するPR活動についてという採用につきまして採用されております。

6件採用ということではありますけれども、この業務の効率化という内容であります。提案された内容といたしましては、経費の節減・削減、業務の改善・改革、観光振興及び広域行政に関することなど、市政全般についての応募がありました。

採用された6件、大月市立中央病院に関するPR活動についてという採用につきまして採用されております。

採用された6件、大月市立中央病院に関するPR活動についてこの業務の効率化という内容であります。提案された内容といたしましては、経費の節減・削減、業務の改善・改革、観光振興及び広域行政に関することなど、市政全般についての応募がありました。

再 質 問

再質問

問

6件採用ということではありますけれども、この業務の効率化という内容であります。提案された内容といたしましては、経費の節減・削減、業務の改善・改革、観光振興及び広域行政に関することなど、市政全般についての応募がありました。

採用された6件、大月市立中央病院に関するPR活動についてこの業務の効率化という内容であります。提案された内容といたしましては、経費の節減・削減、業務の改善・改革、観光振興及び広域行政に関することなど、市政全般についての応募がありました。

うような会議を開くことについての提案。それと、職員が一人一事務局とうふうな一人一事務局制度についての提案。あるいは税務課への高齢者等の来庁者のためのいすつきカウンターの設置についての提案。こういうふうなものが6件ということで採用されております。

防災対策について

ての提案。あるいは税務課への高齢者等の来庁者のためのいすつき力ウンターの設置についての提案。こういうふうなものが6件ということで採用されておりま

に策定いたしました「大月市耐震改修促進計画」によりまして建築物の耐震改修などを推進しております。この計画では、平成27年度までの8年間を計画期間と定めておりまして、対象となる学校施設、病院、市営住宅などの市有建築物50棟について、耐震化率90%を目指といたしております。

現在推進しております学校適正配置実施計画に基づく大月東小学校や大月東中学校の耐震化工事及び大月短期大学附属高等学校の閉校などによりまして、目標は達成できる見通しでございます。

なお、耐震改修が必要とされる市役所本庁舎につきましては、厳しい財政状況の中、具体的な改修計画が打ち出せない状況でございますが、今後総合計画の検証とあわせまして、中長期の計画を見据えて将来に向けて検討してまいりたいと考えております。

に策定いたしました「大月市耐震改修促進計画」によりまして建築物の耐震改修などを推進しております。この計画では、平成27年度までの8年間を計画期間と定めておりまして、対象となる学校施設、病院、市営住宅などの市有建築物50棟について、耐震化率90%を目指といたしております。現在推進しております学校適正配置実施計画に基づく

問 災害発生を想定した職員や市民の災害対応訓練のため、大月市地域防災リーダー養成講習会を開催したとお聞きしましたが、参加者数やその成果についてお聞かせください。

また、災害が発生した場合に対策本部の設置の準備等についてはどう考えているのか、お聞かせいただきたいと思います。

答 総務部長 昨年の9月5日に実施されました市内一斉防災訓練とあわせて、花咲庁舎において地震を想定した災害対策本部設置訓練を実施いたしました。

当日は七保町浅川地区の防災訓練と連携いたしまして、災害発生・通報訓練などを取り入れたより実践的な訓練を行いました。

地域の防災活動のリーダ

問 災害発生を想定した職員や市民の災害対応訓練のため、大月市地域防災リーダー養成講習会を開催したとお聞きましたが、参加者数やその成果についてお聞かせください。

また、災害が発生した場合に対策本部の設置の準備等についてはどう考えているのか、お聞かせいただきたいと

問	再 質 問
災害発生時において、他市では職員の皆さん が対策本部に招集する際、例えは自分の道 路状況等、被害状況を収集してくるような制 度があるようですけれども、そういうことによ り大月市のほうでは考慮しておりますか、教えて いただきたいと思います。	答 総務部長

月13日と2月27日の2日間
参加者24名により実施した
ところです。

問 災害発生時に通信手段が断たれることも予想されます。市民への周知方法はどのような対策を考えておられるかも聞きたいと思います。

答 総務部長

防災行政無線放送設備によりまして市内全域に災害情報の発信をしております。また、昨年度は国の交付金を活用いたしまして、非常用電源装置の蓄電池を市内全子局について更新をいたしました。非常時の対応に備えたところでござります。

▼蓄電池の整備をされたと
いうことですが、郡内地域では本市のみが災害発生時に重要な役割を担う非常用の電源設備を備えていないと思います。災害対策のかなめとなる庁舎への導入を

答	問
防災行政無線放送設備によりまして市内全域に災害総務部長	災害発生時に通信手段が断たれることも予想されます。市民への周知方法はどのような対策を考えておられるかも聞きたいと思います。

答
総務部長

再質問

「災リーダー養成講習会」を
花咲庁舎において、去る2

した周知も行つてゐるところでございます。

ことを最後に意見としてつけ加えさせていただきます。

個人質問



山と川の街大月
中村 英幸

スポーツを通じての大月
市の活性化について

問

桂川ウェルネスパークの完成に伴う大月市を代表するような新たなイベントの創設の考えがあるか、お尋ねします。

答
市長

桂川ウェルネスパークは、山梨県大規模公園配置構想の中で「保健休養公園」として位置づけられ、平成6年から事業に着手をいたしました、西ゾーン、中央ゾーン、東ゾーンがそれぞれの目的を持つて段階的に整備をされてまいりました。

このことによりまして、里山の自然を生かし、健康の増進に寄与し、成長する都市公園として、この3月

22日にしてのゾーンが才一OPENされます。

公園の背景を飾る扇山は、秀麗富嶽十二景6番山頂に指定された名山でありますて、登りやすさや美しい富士山の眺望などからこれまで都内から多くの登山者をお迎えしております。

その美しい富士山が園内随所から望めるほか、南斜面を活用して農業体験を楽しめる施設も多く設置されております。

また、散策路や運動広場などの施設が設置されていることから、本市が現有する体育施設との連携を図り、市民相互の体力づくりあるいは健康増進に寄与するよう、できる限り有効な活用策を考えまいりたいと思ひます。

もとよりこの地から大月駅を結ぶ地域には、「名勝猿橋」を初めとする多くの観光スポットが存在し、本市観光の中心でもあり、待

望の東部地域広域公園が完成したことから、今後は県と連携をしながら観光振興の観点からも積極的な活用を図つてまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申しあげます。

ご承知のように、トレイルランニングにつきましては、本来登山道や林道など場所の高低にかかわらず、舗装されていない自然の道もしくは意図的に踏み固められた道を走るスポーツであります。



再質問

答
教育次長

再質問

観光や健康増進、生涯学習を兼ねたウォーキングやハイキング、人々を走り抜けるトレイルランニング等が全国各地で盛んに行われておりますが、さらに踏み込んでそれら検討する予定があるか。

近隣での開催状況を見ますと、大会初年度から市内外から約1,000名ほど、1,000名を超える参加者を見ておりまして、観光振興の面から多大な効果を上げているというふうに伺っております。

しかし反面、過酷なコースで行われるため、心臓発作や登山道から転落して死亡する例も挙げられており、安全対策が必要

不可欠であるというふうに伺っております。

以上のことから、トレイルランニングの開催につきましては、まずコースの設定とコースとなります登山道、林道の整備が必要であります。その後におきまして市民の健康増進とスポーツの普及あるいは観光振興の面を含めた総体的な検討が必要であると考えております。

今後におきまして検討課題として受けとめておりますが、ただいま申し上げましたとおり、開催する場合は行政が主体ということではなく、陸上関係者を初め観光協会や民間の方々等関係者におきまして実行委員会を組織して検討すべきであると思います。

そのための体制づくりにつきましては、関係機関と協力する中で側面から働きかけてまいりたいと考えおりますので、ご理解をお願いいたします。

平成23年度予算審査特別委員会

委員長
小原丈司副委員長
山田善一

の運営を行うこととなりました。

付託されました、9案件

を審査するため、3月15日、
16日の都合2日、委員会を

開催致しました。

予算全体の概要並びに各
課別の予算内容について、
教育長及び、担当部課長等

から説明を受け、慎重に審
査を行い、採決を行つた結
果「議案第10号 平成23年
度大月市一般会計予算」及
び「議案第12号 平成23年
度大月市国民健康保険特別
会計予算」については、賛
成多数で、「議案第11号
平成23年度大月市大月短期
大学特別会計予算」並びに
「議案第13号 平成23年度
大月市簡易水道特別会計予
算」から「議案第18号 平

成23年第1回市議会定
例会、開会日に、委員17人
で構成する平成23年度予算
審査特別委員会が設置され、
本委員会に「議案第10号

平成23年度大月市一般会計
予算」から「議案第18号 平

成23年度大月市病院事業会
計予算」まで、9件の予算
案件が付託され、同日に、
本委員会の正副委員長の互
選を行い、不肖私が委員長
に、また山田善一委員が副
委員長に就任し、本委員会

成23年度大月市病院事業会
計予算」までについては、
全会一致で、いずれも可決
すべきものと決しました。

予算全般について、厳し
い財政状況の下、財政健全
化に向け努力していること
は理解するものの、財政厳
しい中にあっても、取捨選
択により、将来に向けた政
策への予算の重点配分や、
東日本大震災への対応状況
をまのあたりにし、今一度、
危機的状況下における、市
民の安心、安全確保という
観点に立ち、本市独自のハ
ザードマップの作成、防災
備蓄品の内容の充実、住基
情報の安全性の確保、また、
学校適正化により生じた小
中学校跡地の、新たな地域
拠点を創造した利活用など、
市長の陣頭指揮のもと、職

新たな財源の確保に努め、
市民が将来に希望をもてる
施策の展開を望むと言つた
趣旨の意見が多くありました
た。

なお、その他多くの委員
から多数の活発な質疑があ
りましたが詳細については、
会議録にとどめてあります
ので、ご了承願います。

以上、誠に簡単ではあり
ますが、予算審査特別委員
会の報告とさせていただき
ます。

大月市下水道特別会計予
算

- ・議案第13号 平成23年度
大月市簡易水道特別会計予
算

大月市介護保険特別会計予
算

- ・議案第14号 平成23年度
大月市下水道特別会計予
算

大月市介護保険特別会計予
算

- ・議案第15号 平成23年度
大月市介護保険特別会計予
算

大月市後期高齢者医療特別
会計予算

- ・議案第16号 平成23年度
大月市後期高齢者医療特別
会計予算

大月市介護サービス特別会
計予算

- ・議案第17号 平成23年度
大月市介護サービス特別会
計予算

大月市病院事業会計予算

- ・議案第18号 平成23年度
大月市病院事業会計予算

予算審査特別委員会

【付託された案件】

- ・議案第10号 平成23年度
大月市一般会計予算
- ・議案第11号 平成23年度
大月市大月短期大学特別会
計予算
- ・議案第12号 平成23年度
大月市国民健康保険特別会
計予算
- ・議案第13号 平成23年度
大月市簡易水道特別会計予
算
- ・議案第14号 平成23年度
大月市下水道特別会計予
算
- ・議案第15号 平成23年度
大月市介護保険特別会計予
算
- ・議案第16号 平成23年度
大月市後期高齢者医療特別
会計予算
- ・議案第17号 平成23年度
大月市介護サービス特別会
計予算
- ・議案第18号 平成23年度
大月市病院事業会計予算



予算審査特別委員会

◆3月9日（火）
【付託された案件】
一、議案第19号 平成22年度大月市一般会計補正予算（第6号）
一、議案第22号 平成22年度大月市簡易水道特別会計補正予算（第3号）
一、議案第23号 平成22年度大月市下水道特別会計補正予算（第2号）
◇委員長報告の内容（要約）
◇審査に先立ち、当委員会の副委員長でありました、井上正己議員が議員辞職いたしておりますので、審査としておりませんので、審査に副委員長の互選を行ない、大石源廣委員が副委員長に選任されました。
け、慎重審査の結果「議案第19号 平成22年度 大月市一般会計補正予算（第6号）」中、本委員会所管事項、「議案第22号 平成22年度 大月市簡易水道特別会計補正予算（第3号）」
「議案第23号 平成22年度 大月市下水道特別会計補正予算（第2号）」について、いざれも全会一致で、その必要性は認めるものの、諸般の実状等考慮し、継続審査とすることに決しました。

◆3月23日（火）
【付託された案件】
一、議案第8号 大月市道路占用料徴収条例中改正の件
一、議案第9号 大月市簡易水道事業給水条例中改正の件
一、議案第28号 市道の路線変更認定の件
一、請願第1号 住宅リフォーム助成制度を求める請願について
◇委員長報告の内容（要約）
担当課長等の説明を受け、慎重審査の結果、「議案第8号 大月市道路占用料徴収条例中改正の件」「議案第9号 大月市簡易水道事業給水条例中改正の件」「議案第28号 市道の路線変更認定の件」について、大月市下水道特別会計補正予算（第2号）」について、原案のとおり可決すべきと決しました。

2月15日に栗山町議会において研修を行いました。栗山町議会では、積極的な情報の公開、政策活動への多様な市民参加の推進、



◆議会運営委員会◆
行政視察研修



現地視察



北海道知中部広域連合議会

議員間の自由な討議の展開、市長等の行政機関との持続的な緊張の保持、議員の自己研鑽と資質の向上、公正性と透明性の確保、議会活動を支える体制の整備状況等を調査・研修する目的に、平成18年度に議会基本条例を定め、先駆的な取り組みを行つており、議会基本条例の策定前の状況並びに策定後の議会活動の変化について研修いたしました。

また、全国に先駆け議会基本条例を制定している関係から全国の各市町村から行政視察が非常に多く、研修を行つた15日には、本市以外にも1市2町の議員が視察に訪れており、合同での視察研修となりました。

2月16日には、1市5町で組織する空知中部広域連合において研修を行いました。本市も、山梨県東部広域連合の構成市として、また、山梨県後期高齢者広域連合へ、行政事務のスケールメソットを求め参加しておりましたが、人口3万人前後の市において、市民が求める市町村毎のフルセット主義は、非効率且つ住民負担が嵩むことに鑑み、市町村合併が進展しない今、多面的な広域行政推進により、行政サービスの質と量を落とさず、行政効率の向上、住民負担の縮減など、広域連合設立の草分け的な存在である空知中部広域連合へ広域行政の更なる可能性を求め、行政視察を実施しました。

なお4月19日に視察研修報告会を行いました。

事務局長紹介

4月1日付、人事異動により議会事務局長の異動がありましたので報告します。小林和人氏が議会事務局長に就任し、前事務局長の石井淑造氏は退職いたしました。

議会日誌

あなたも本会議を傍聴しませんか。

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。

詳しいことは議会事務局にお問合せ下さい。

編集・発行：市議会だより編集委員会（大月市議会事務局内）

大月市議会事務局：〒401-8601 山梨県大月市大月二丁目6番20号

☎ (0554)23-1057 FAX (0554)23-0321

Eメール : gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

第123号

平成23年8月31日

発行予定